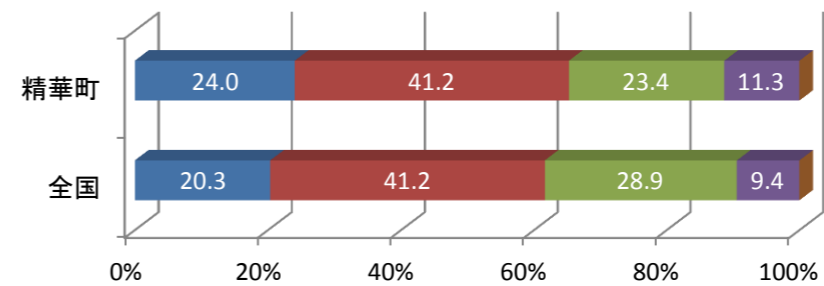
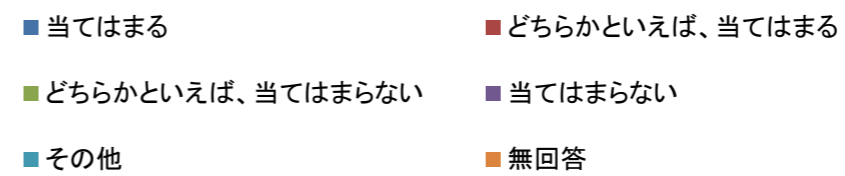
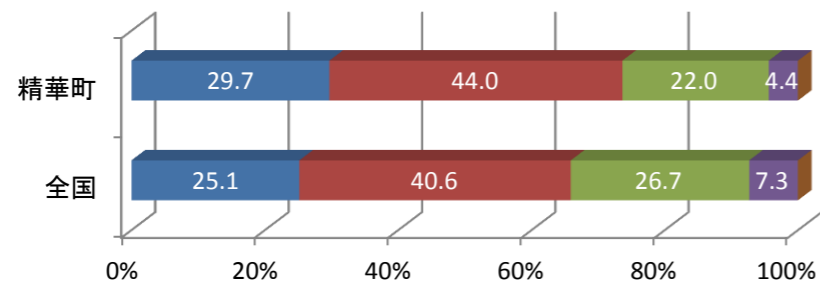
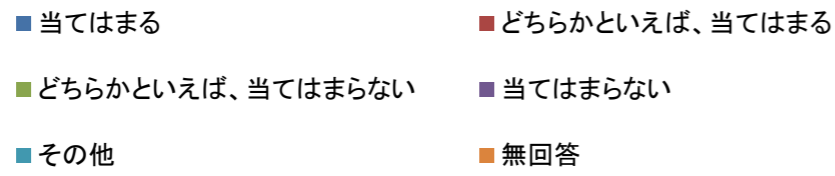


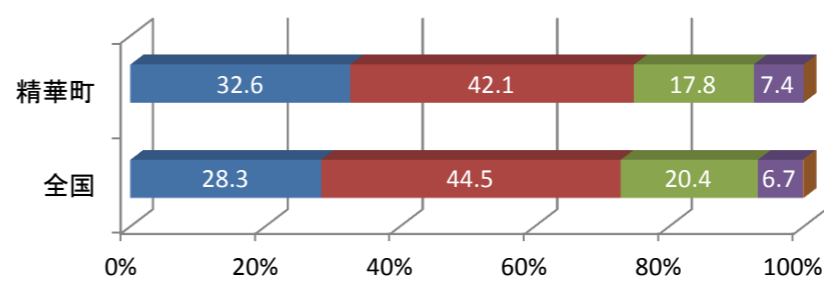
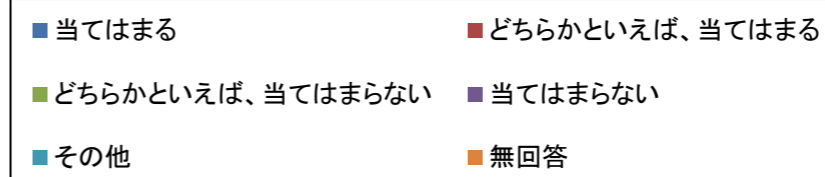
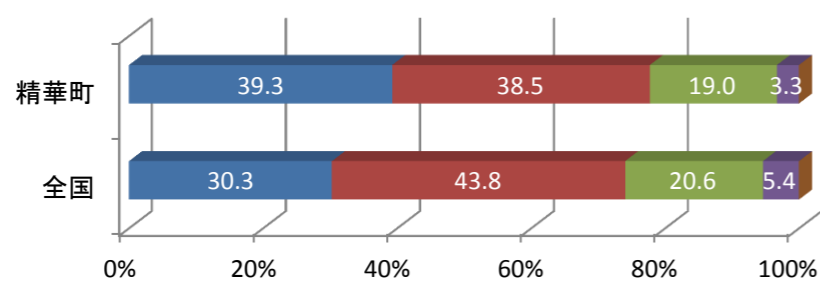
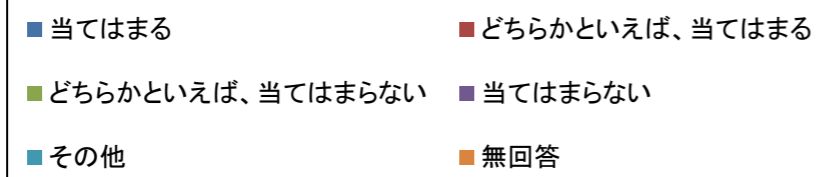
小学6年生

中学3年生

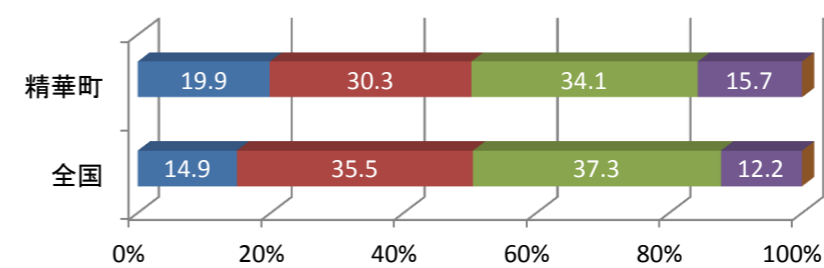
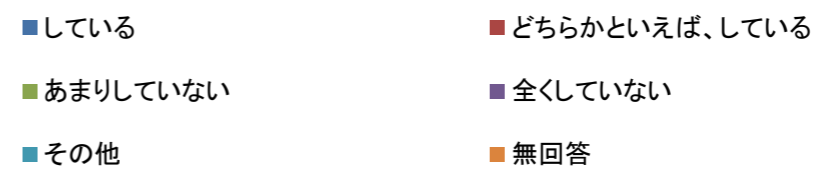
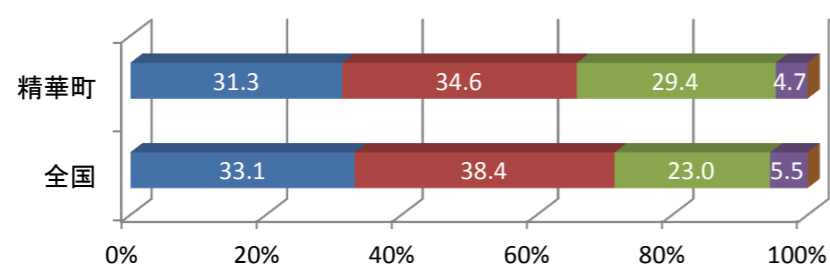
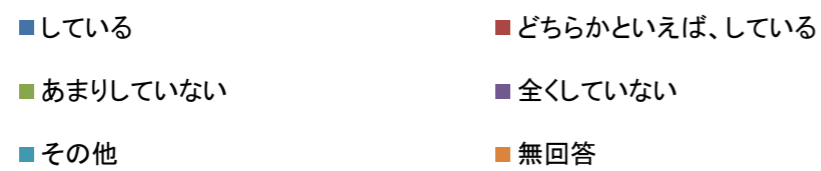
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



児童・生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか



家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

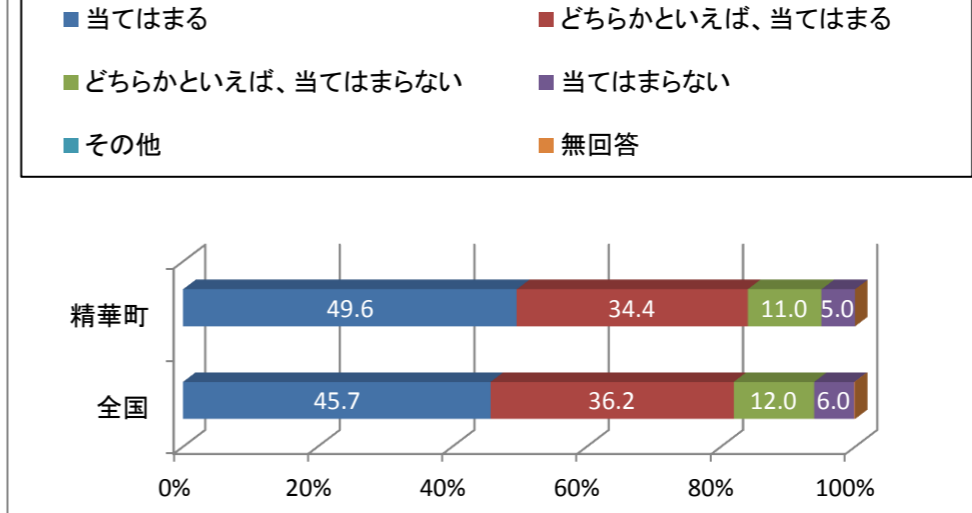
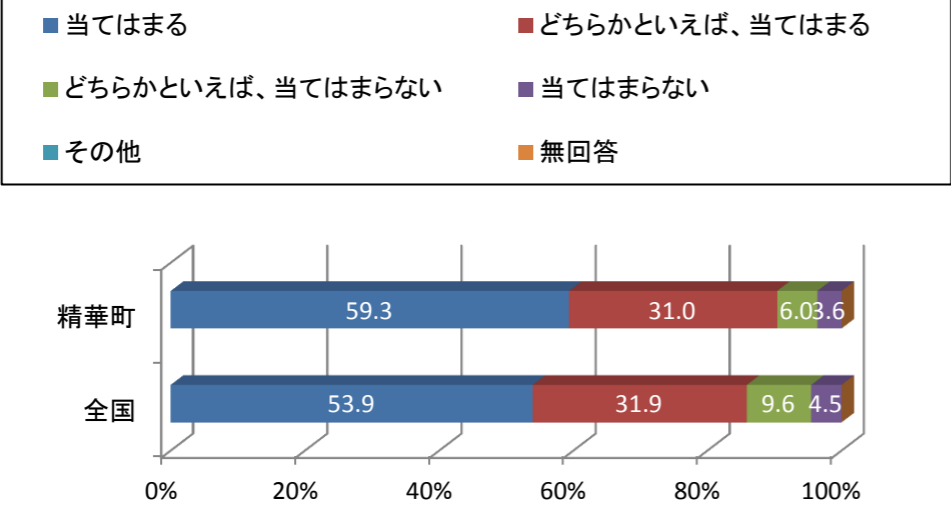


学習状況に関する質問では、総合的な学習の時間において自ら課題を見つけ、情報収集をして整理し、調べたことを発表する学習活動について、全国平均との比較において、町内児童生徒は積極的に取り組んでいることがグラフの数値から読み取ることができます。また77.8%の小学6年生、74.7%の中学3年生が、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると感じています。一方、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問では、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した小学6年生は、全国平均より低い結果となりました。

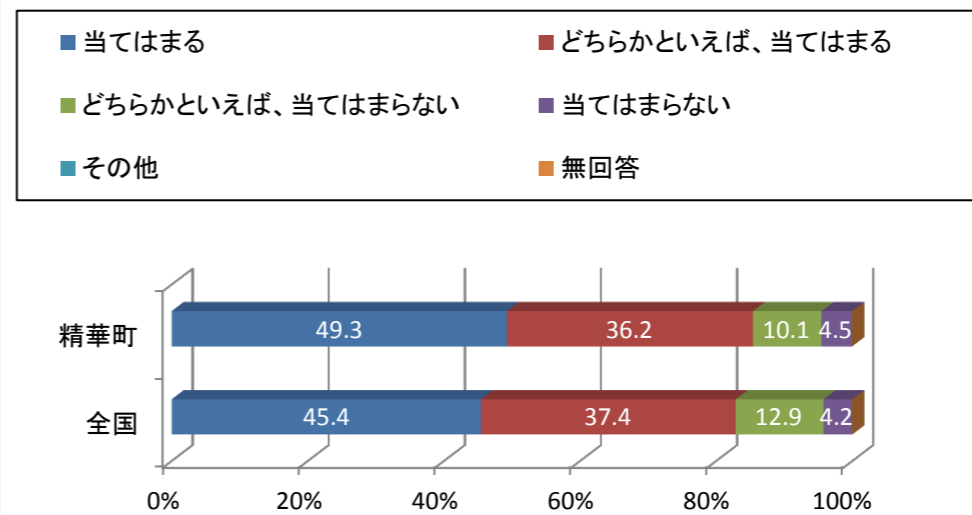
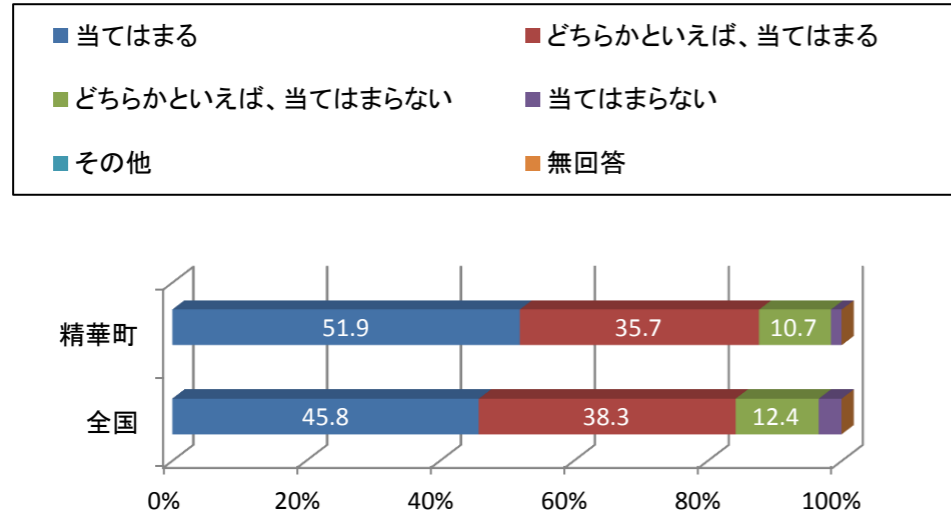
小学6年生

中学3年生

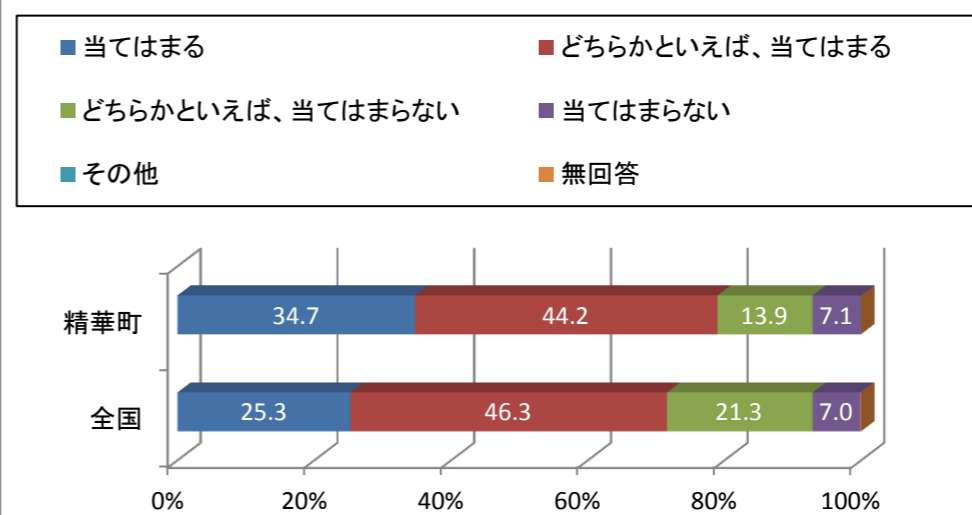
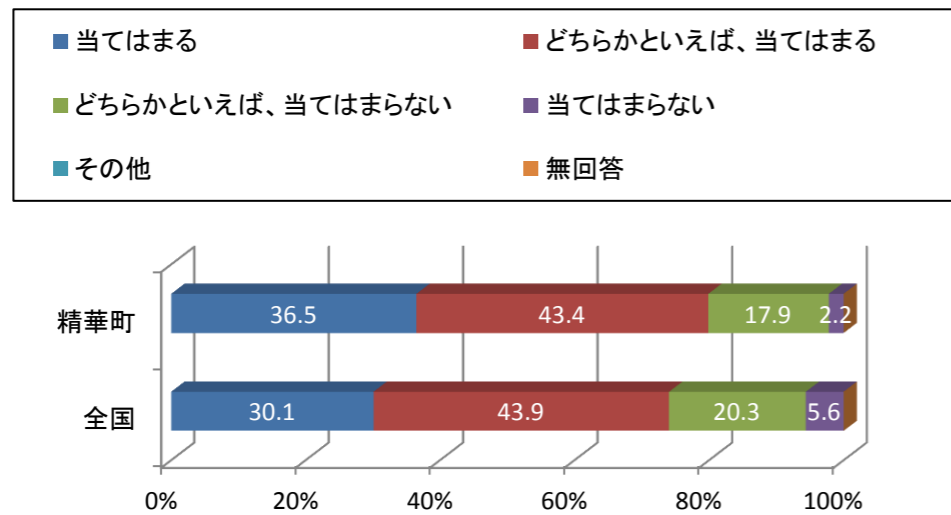
学校に行くのは楽しいと思いますか



学級みんなで話し合っただめたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか



あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会(学級活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか

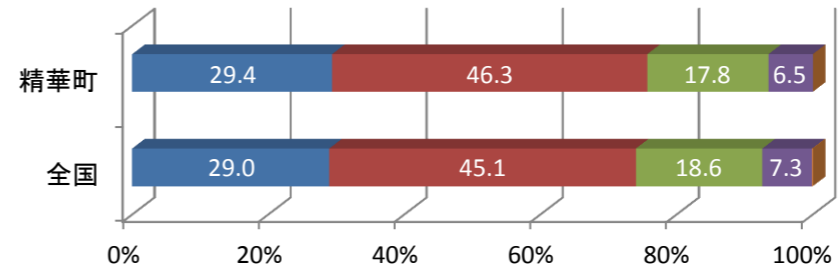
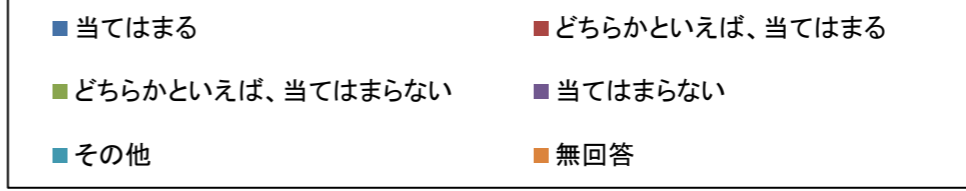
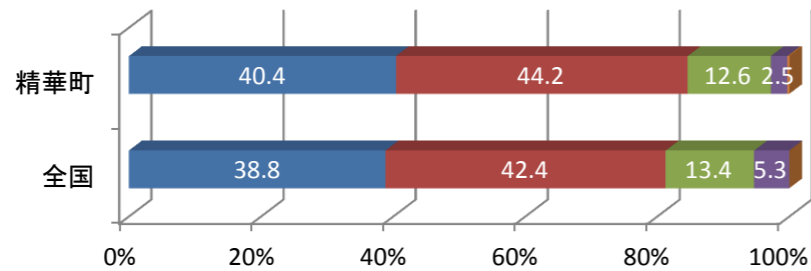
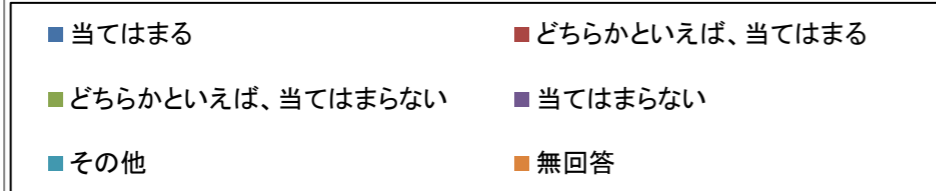


精華町の子どもたちは「学校へ行くのが楽しいと思いますか」の質問に対し、小学6年生では90.3%、中学3年生では84.0%が肯定的な回答をしています。次に、「学級みんなで話し合っただめたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか」の質問では、85%以上の児童生徒が達成感を味わっていることがグラフから読み取れます。また、80%近くの児童生徒が学級生活をよりよくするために学級会(学級活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると感じていることがわかりました。

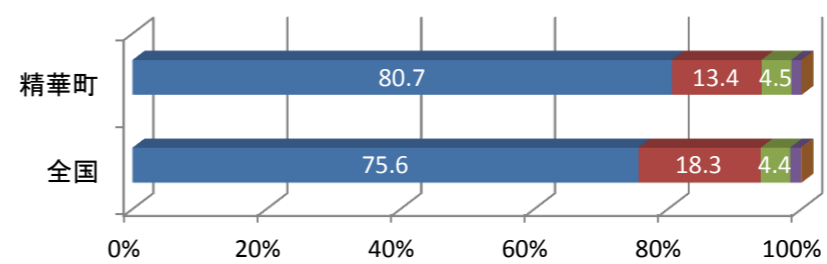
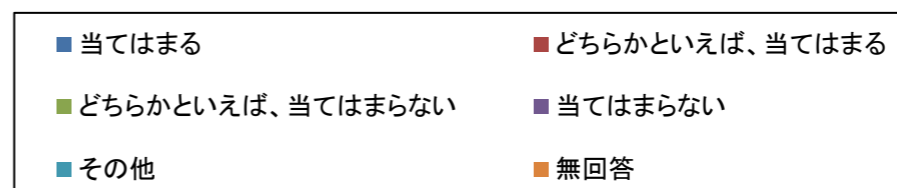
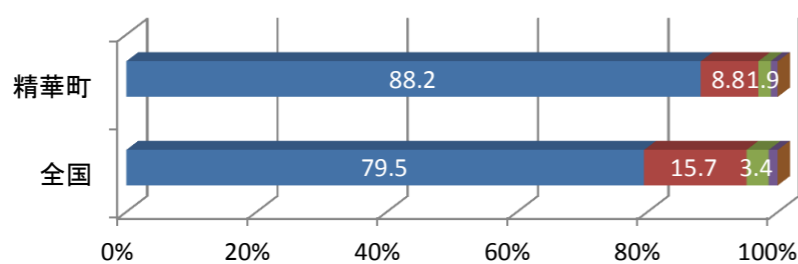
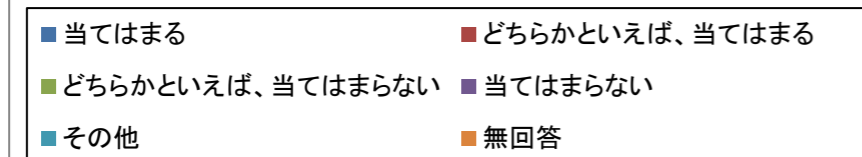
小学6年生

中学3年生

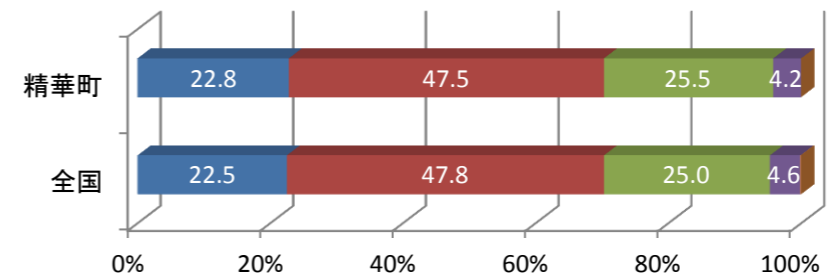
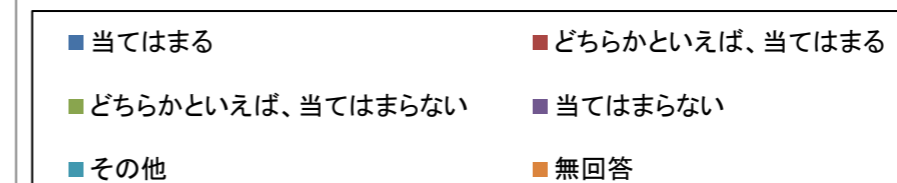
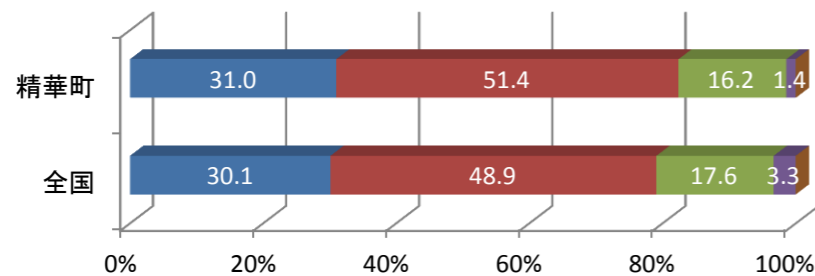
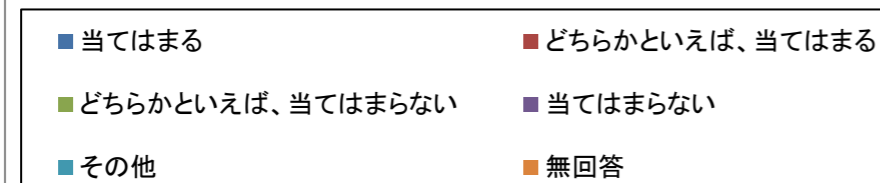
自分には良いところがあると思いますか



ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか



難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか

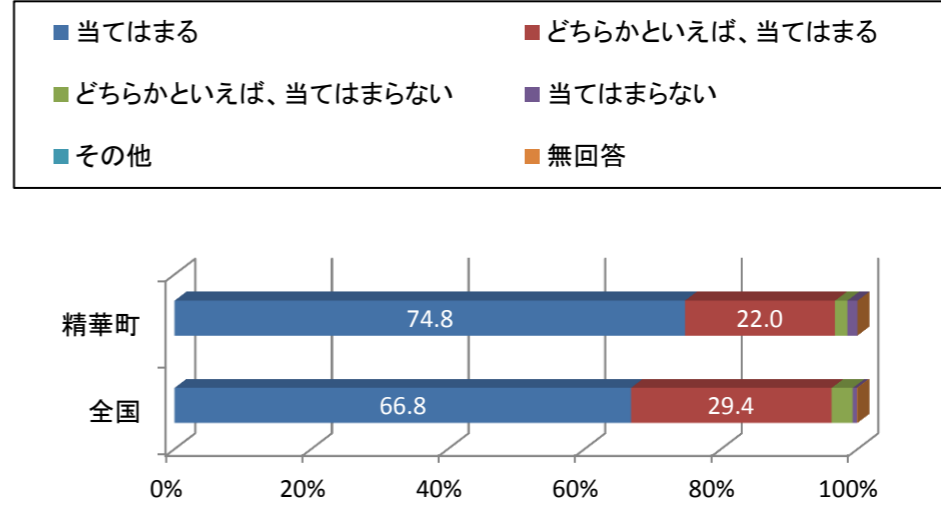
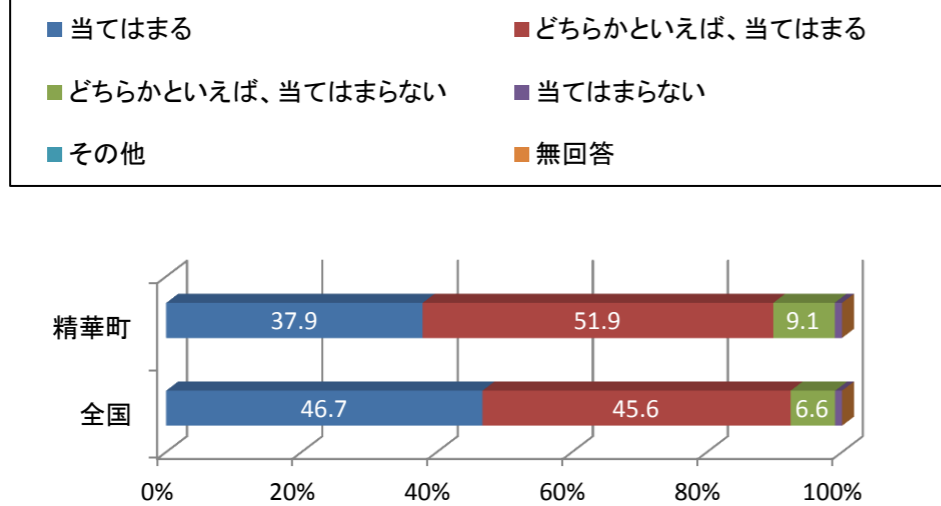


「自分には良いところがあると思いますか」の質問では「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した小学6年生及び中学3年生が、全国平均との比較で若干高いことが分かります。また、「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」については、小学6年生で97.0%の児童が、中学3年生で94.1%の生徒が肯定的な回答をしています。また、「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか」の質問では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせると小学6年生で82.4%、中学3年生で70.3%の児童生徒が「挑戦する」と前向きな回答でした。

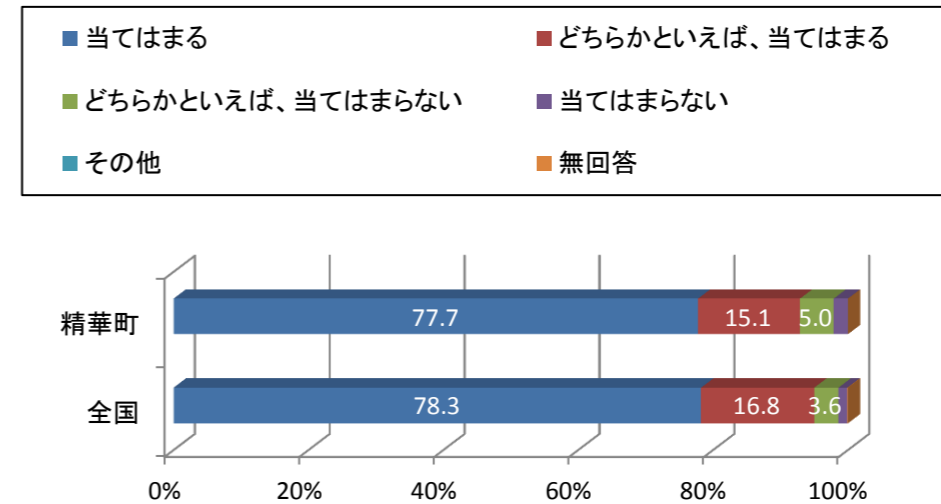
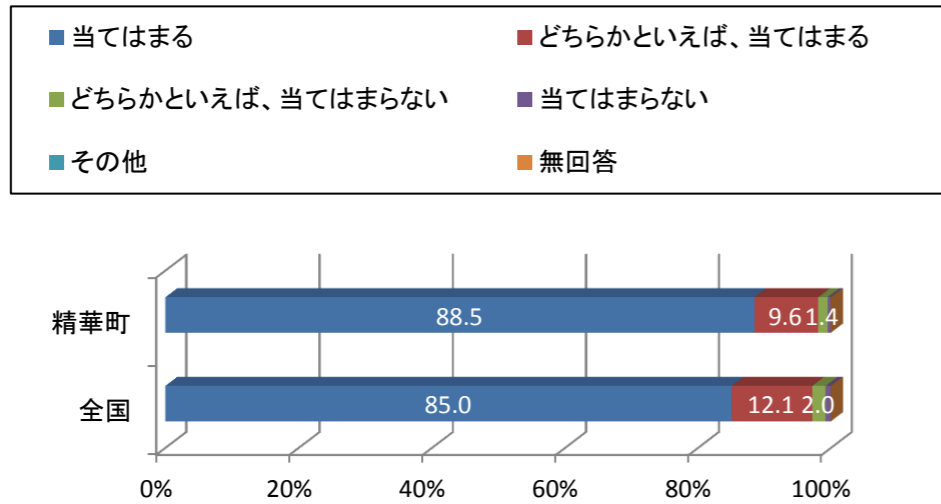
小学6年生

中学3年生

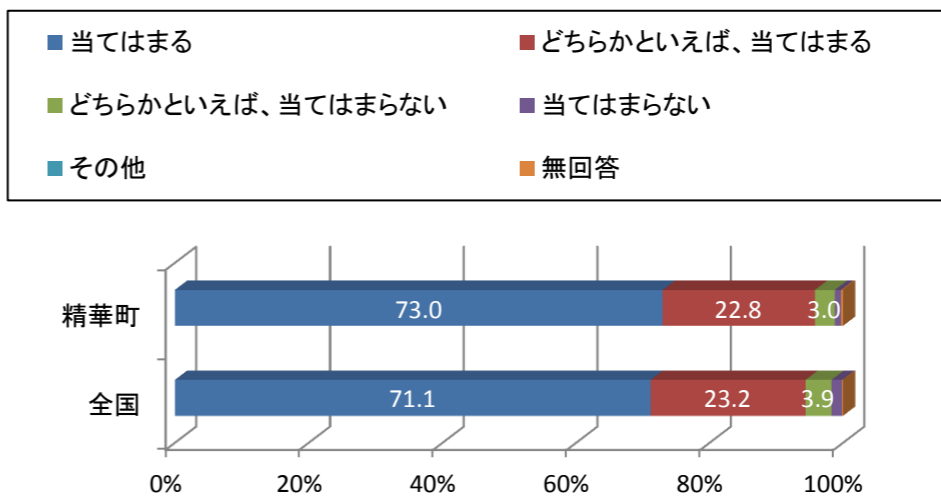
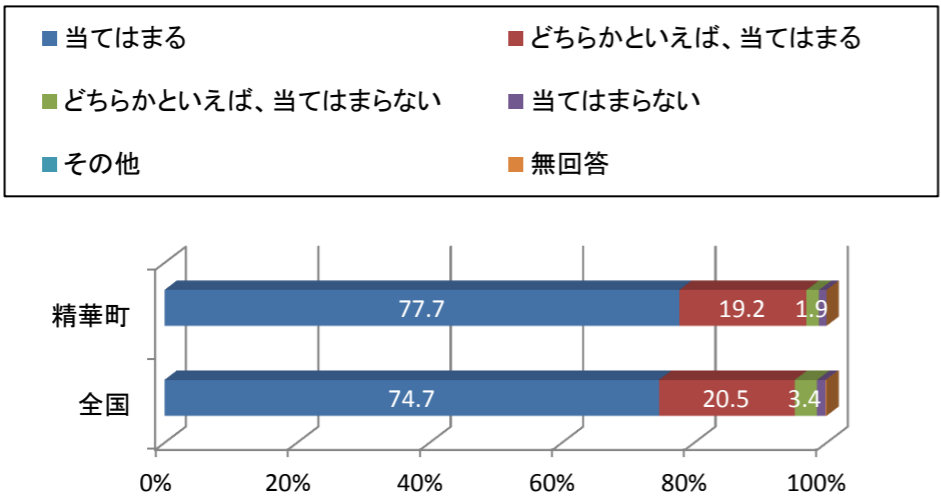
学校のきまりを守っていますか



いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



人の役に立つ人間になりたいと思いますか

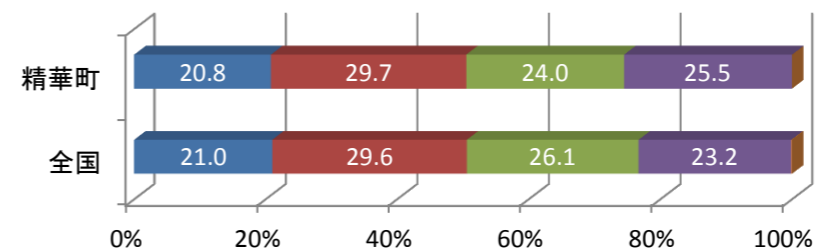
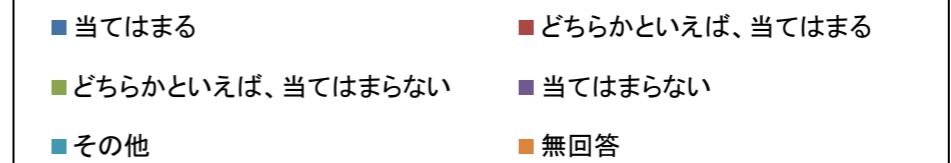
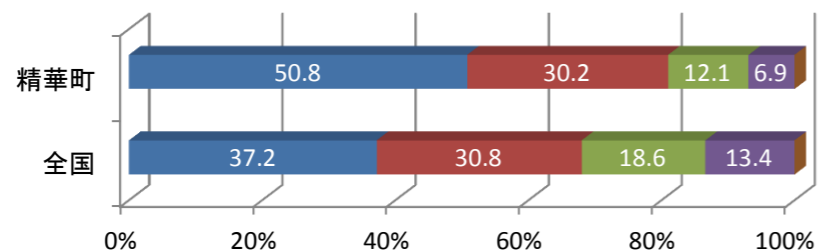
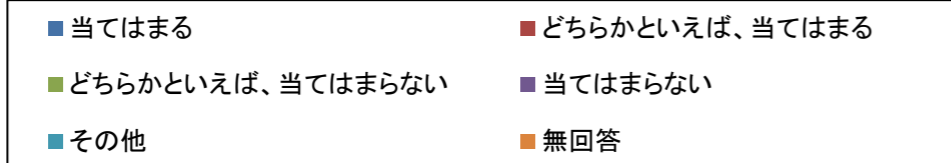


「学校の規則を守っていますか」の質問において、小学6年生の回答が全国平均を下回る結果となりました。各校では課題を分析し、適切に取り組む必要であると思われます。次に、「いじめ」に関する質問においては、ほとんどの児童生徒が「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と判断しています。しかし、肯定的な回答をしなかった児童生徒が若干名いることから、引き続き道徳教育や人権教育を充実させていく必要があります。また、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問においては、95%以上の児童生徒が肯定的な回答をしています。

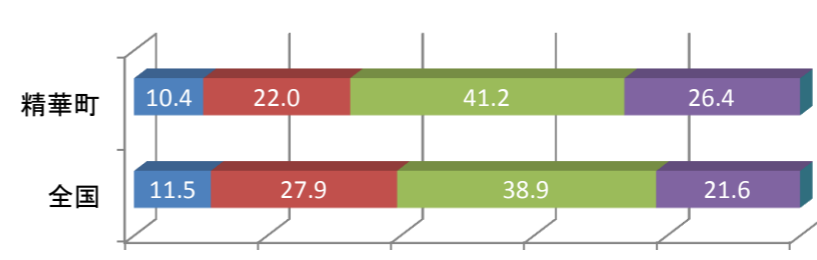
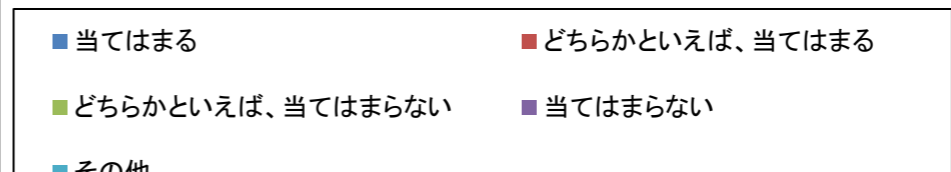
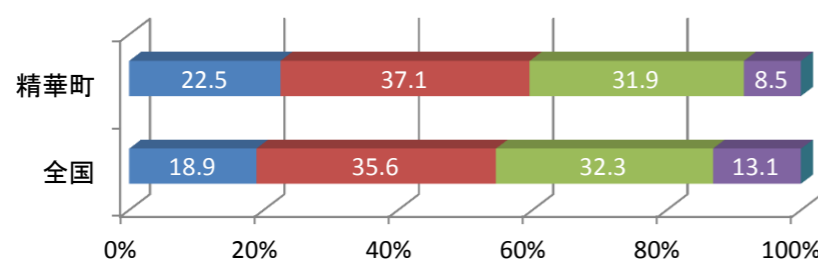
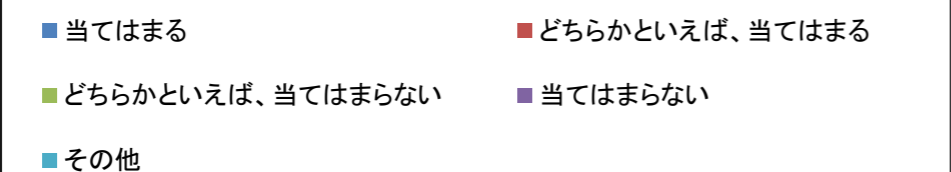
小学6年生

中学3年生

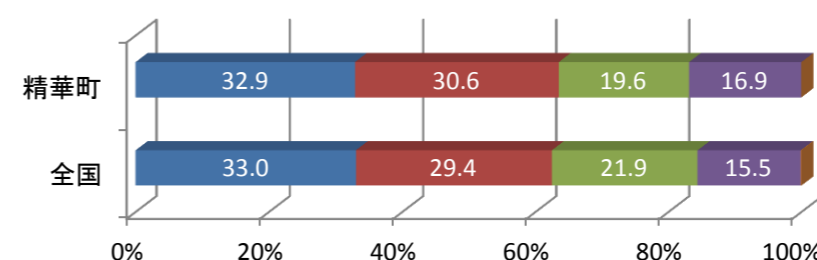
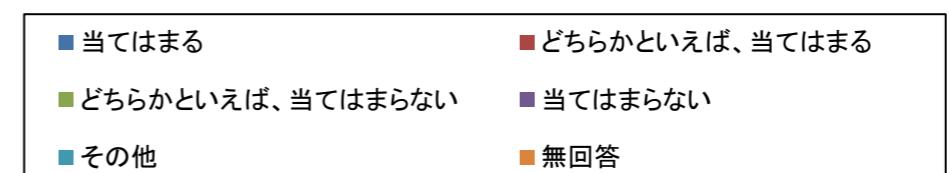
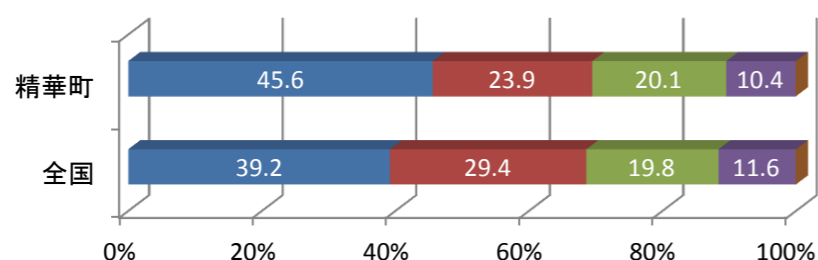
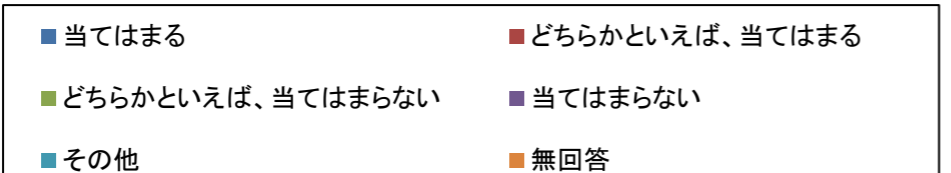
今住んでいる地域の行事に参加していますか



地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか



外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思っていますか

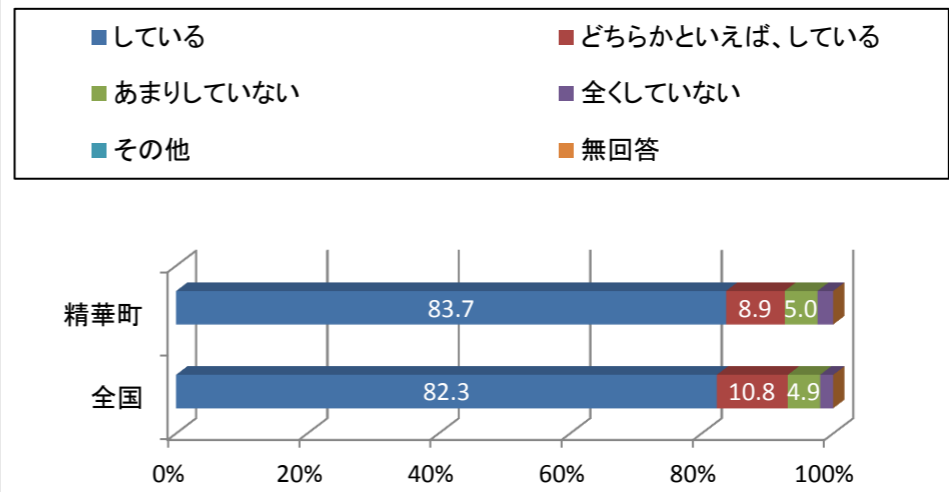
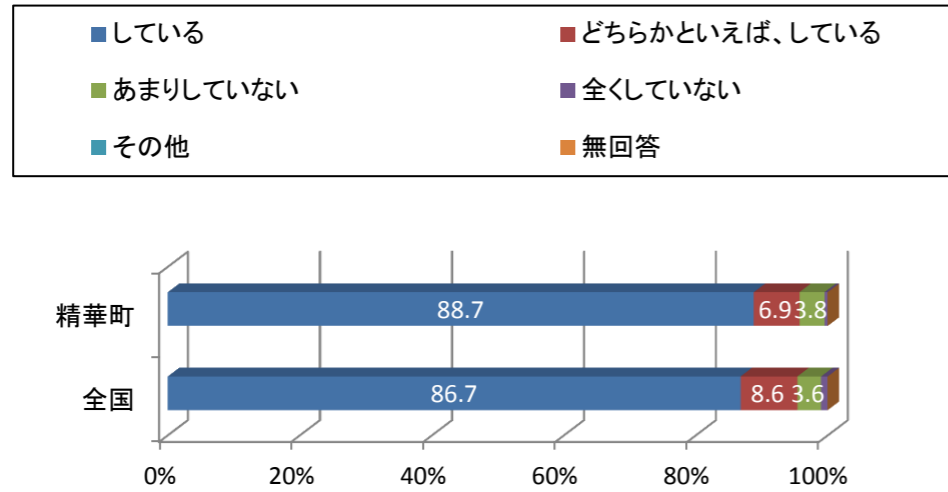


「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の質問においては、小学6年生の回答が全国平均を上回り、積極的に参加していることが分かります。次に、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」の質問では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせると小学6年生で59.6%に対し、中学3年生で32.4%という低い回答であり、今後の課題として取り組んでいく必要があると考えます。「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思っていますか」については全国平均と同じ傾向を示す結果となりました。

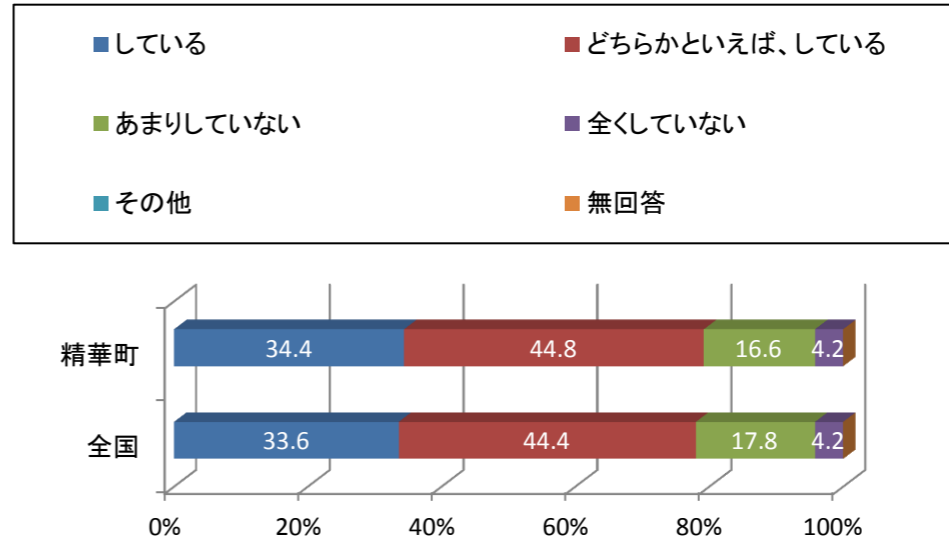
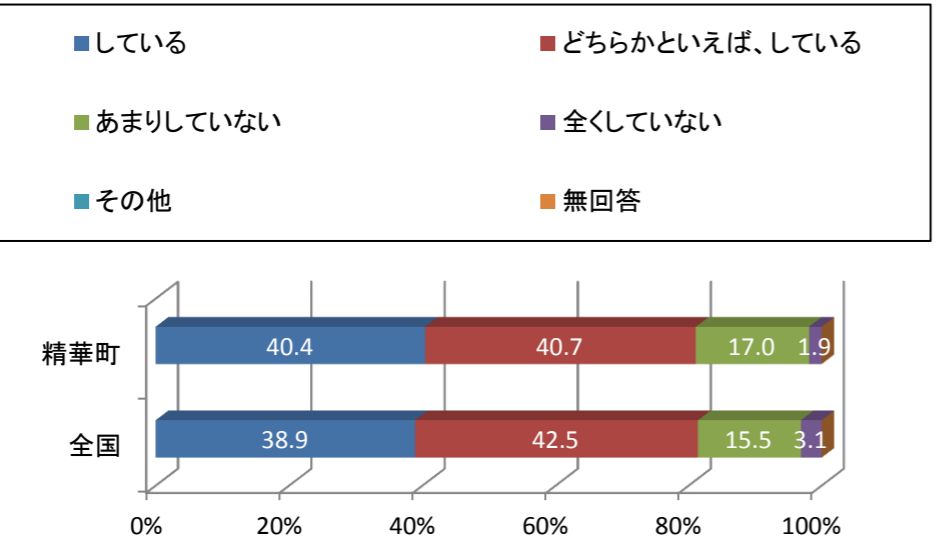
小学6年生

中学3年生

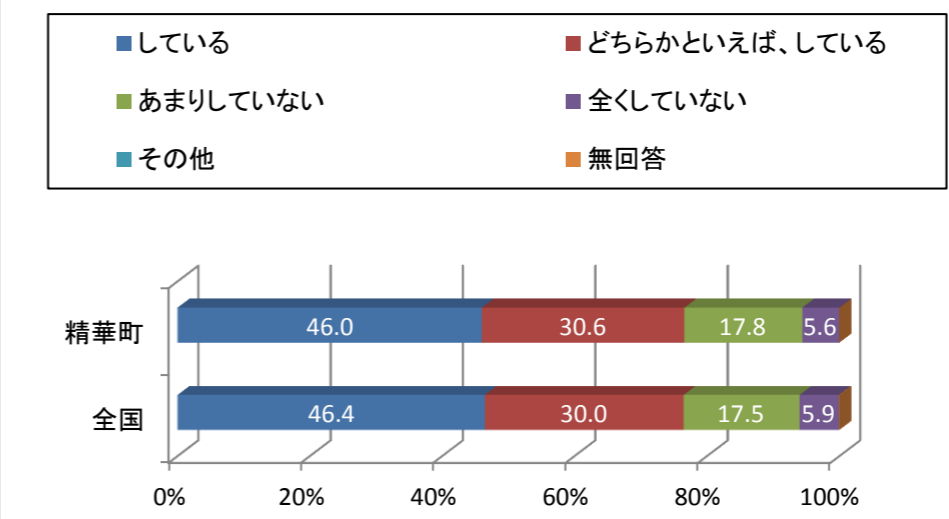
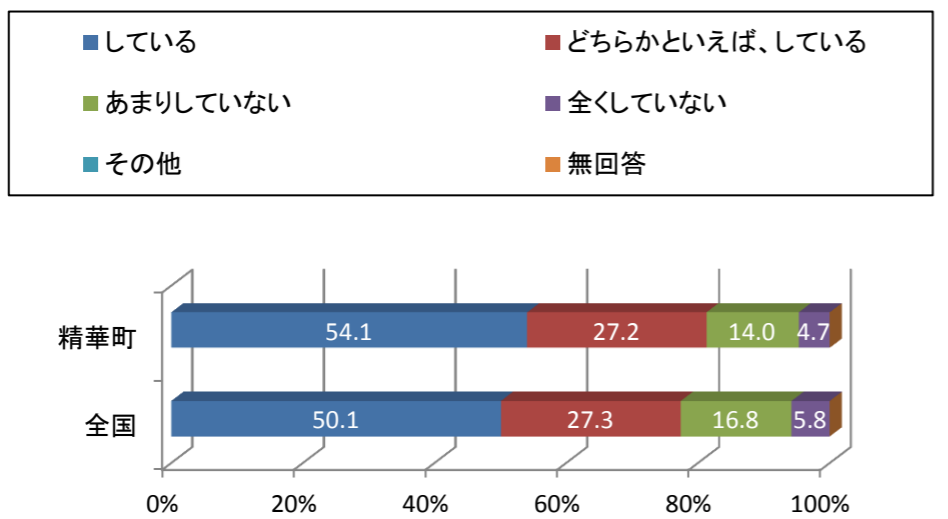
朝食を毎日食べていますか



毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか



朝食については、小学6年生及び中学3年生ともにほぼ毎日食べて登校していることがわかります。また、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」の質問では、小中学生とも全国平均と同じ傾向を示す結果となっています。次に「家の人と学校での出来事について話をしますか」の質問では、小学6年生で81.3%、中学3年生で76.6%の児童生徒が肯定的な回答をしていることがわかります。